

# 市内10か所で平成22年度ブロック連絡会議を開催しました。

市内10か所で行った10月13日から11月12日にかけて、地域の振興委員等が出席し「ブロック連絡会議」を開催しました。当会議所では、連絡会議で寄せられました皆様からのご意見・ご要望を今後の業務や事業に活かしていくとともに、行政への要望・政策提言なども積極的にを行い、地域の活性化を目指して努力してまいります。

## 各地区の主な意見、情報等

### 葵 区

● 大手自動車部品メーカーから休日にも迅速に対応する納入姿勢が評価され、県内の複数の工場に加え、他県の工場にも納品させてもらい多忙である。(部品商社)

● 自動車以外の仕事がほとんど無い国内の製造業において、最近の円高で自動車等の輸出が一段と落ち込めば、国内の製造業は無くなってしまうのではないかと強く危惧している。早急な対策が必要である。(部品加工)

● 鷹匠近辺は新規出店も多く賑わっており、北街道沿いの駿府通り商店会も賑わいを作れるよう既存店舗で頑張りたい。(衣料品販売)

● 後継者として新しい事業の形を模索し、他と違うことをやるつもりでいる。結果として、創業当時の事業のままだったら今頃廃業していたのではないかと思う。会議所事業の中で、ビジネスe.パスポートという販路開拓支援サービスを利用しており、皆様にもお薦めしたい。(文具販売)

### 駿 河 区

● 月15件程度の新規ご相談があり、何件かの住宅会社との比較検討を経て、月2〜3件の成約となる。価格でなく品質サービスで勝負しており、おかげさまで業績は順調である。ブロック会議は出席された方の事業の状況や地域の情報が得られ、大変有意義な時間となった。商工会議所ならではの貴重な機会であり、お金を代えられない価値があったと思う。(建設業)

● 商工会議所の創業塾を受講し、その後もご指導いただいたが無事開業することができた。また、商工会議所の紹介をきっかけに人脈が繋がっていき、今では特に営業をしなくても仕事をいただいている。商工会議所に入ってから良かったと強く実感しており、今後も会員増強にぜひ協力していきたい。(土業)

● 商工会議所は事業の視点をもっと小規模事業者に向けるべき。小規模事業者に内容が高度すぎる気がする。厳しい経済状況の中、支援を必要としているのは従業員を雇えないような小さな企業である。(部品製造)

### 清 水 区

● 建築士会清水支部で、蔵倶楽部というものを立ち上げた。昔からある蔵を保存し、観光にも結び付けたいと考えている。また、地域振興の提案として、清水駅前銀座アーケードの場所をコンサートや絵画の展示などで市民に貸し出すことはできないのか。お金がかからなくても人が集まるのではと考えている。(建築事務所)

● 商工会議所が事務局を務めるジョブカード制度を利用し、優秀な人材を雇い入れることができた。OJT(現場実習)も職業訓練と認められており、使い勝手も良い。今後も中小企業の人材確保の有用な制度として活用していきたい。(建設業)

● 国内生産品を海外に輸出することが少なくなっているため、輸出関連企業は一般的に厳しくなっている。御前崎港や名古屋港をメインに用いる企業も多くなっている。また、マグロなどの水産品も、新しい冷蔵設備に加え安価に請負う焼津地域の利用が多くなってきている。(運送業)

